

2025年度（前期）		写真学科		1 年	
授業コード	授業科目名			単位数	担当講師名
	写真史			4	権 泰完
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	時間×回数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	必修	64	写真作家として活動

☐ 授業概要

写真史、歴史に残る写真家、フォトグラファーが残した作品そのものを知り、またその時代背景を学び制作意欲の幅を広げる

☐ 授業テーマ

写真の歴史と写真作品を研究し、作品制作に活かす

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	木村伊兵衛賞受賞作家研究①	木村伊兵衛賞受賞作品A群1975年～1979年A
2	木村伊兵衛賞受賞作家研究②	木村伊兵衛賞受賞作品C群1980年～1949年A
3	木村伊兵衛賞受賞作家研究③	木村伊兵衛賞受賞作品D群1950年～1989年A
4	木村伊兵衛賞受賞作家研究④	木村伊兵衛賞受賞作品E群1990年～2004年A
5	木村伊兵衛賞受賞作家研究⑤	木村伊兵衛賞受賞作品F群2005年～2008年A
6	木村伊兵衛賞受賞作家研究⑥	木村伊兵衛賞受賞作品G群2009年～2014年A
7	木村伊兵衛賞受賞作家研究⑦	木村伊兵衛賞受賞作品H群2015～2019年A
8	写真誕生①	1800年代：コロジオン湿板写真について
9	写真誕生②	1840年代：ガラス乾板写真について
10	写真誕生③	タルボットとアーチャーについての研究
11	写真伝来・日本	日本への写真伝来、上野彦馬について
12	肖像写真	肖像写真ナダールについて
13	風景写真	風景写真、フランス革命
14	まとめ	提出物チェック、アドバイス
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

毎授業の内容を記録することで
自分の写真史ノートが完成。いつでも振り返ることができる。

☐ 評価方法

課題制作、理解度テスト、提出物での評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）		写真学科		1 年	
授業コード		授業科目名		単位数	担当講師名
		写真史		4	権 泰完
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	時間×回数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必修	64	写真作家として活動

☐ 授業概要

写真史、歴史に残る写真家、フォトグラファーが残した作品そのものを知り、またその時代背景を学び制作意欲の幅を広げる

☐ 授業テーマ

写真の歴史と写真作品を研究し、作品制作に活かす

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	復習	前クールまでのおさらい
2	プレゼン	提出物チェック、アドバイス
3	写真表現①	写真家による探検と冒険、マキシムデュカン
4	写真表現②	ポートレート表現ジュリアマーガレットキャメロン
5	写真と戦争①	初期の写真と戦争の記録
6	写真と戦争②	戦争写真について
7	写真技術の進化	マイブリッジの動体写真について
8	復習	提出物チェック、アドバイス
9	作品性について	アルフレッドスティーグリッツとモノクロプリント
10	都市と地域性①	アッジェと都市の写真について
11	都市と地域性②	スティーグリッツと都市の写真について
12	写真の種類、様式①	ソラリゼーション、シュールレアリズム、マンレイについて
13	写真の種類、様式②	肖像を通じた記録、アウグストザンダーについて
14	復習	提出物チェック、アドバイス
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

毎授業の内容を記録することで
自分の写真史ノートが完成。いつでも振り返ることができる。

☐ 評価方法

課題制作、提出物での評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）		写真学科		2 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタジオワークⅡ			4	加藤 淳史
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	広告・フォトグラファーとして活動

☐ 授業概要

ライティング技術、イメージ発想力などの向上

☐ 授業テーマ

フォトスタジオでの作品制作

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	スタジオ撮影実習	スタジオ撮影復習
2	／	スタジオ撮影実習	商品撮影(小物)
3	／	スタジオ撮影実習	商品撮影(ファッションアイテム)
4	／	スタジオ撮影実習	複写(ポスターなど)
5	／	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影1
6	／	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影2
7	／	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影3
8	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
9	／	スタジオ撮影実習	スタジオ撮影復習
10	／	スタジオ撮影実習	商品撮影(小物)
11	／	スタジオ撮影実習	商品撮影(ファッションアイテム)
12	／	スタジオ撮影実習	複写(ポスターなど)
13	／	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影1
14	／	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影2
15	／	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影3
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

スタジオ作品の完成

ポートレートライティング技術習得

☐ 評価方法

課題制作、提出物での評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）		写真学科		2 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタジオワークⅡ			4	加藤 淳史
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	広告・フォトグラファーとして活動

☐ 授業概要

ライティング技術、イメージ発想力などの向上

☐ 授業テーマ

フォトスタジオでの作品制作

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	/	スタジオ撮影実習	スタジオ撮影復習
2	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(小物)
3	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(ファッションアイテム)
4	/	スタジオ撮影実習	複写(ポスターなど)
5	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影1
6	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影2
7	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影3
8	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
9	/	スタジオ撮影実習	スタジオ撮影復習
10	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(小物)
11	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(ファッションアイテム)
12	/	スタジオ撮影実習	複写(ポスターなど)
13	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影1
14	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影2
15	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影3
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

スタジオ作品の完成

ポートレイトライティング技術習得

☐ 評価方法

課題制作、提出物での評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）		写真学科		1 年	
授業コード	授業科目名			単位数	担当講師名
	写真史			4	権 泰完
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	時間×回数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	必修	64	写真作家として活動

☐ 授業概要

写真史、歴史に残る写真家、フォトグラファーが残した作品そのものを知り、またその時代背景を学び制作意欲の幅を広げる

☐ 授業テーマ

写真の歴史と写真作品を研究し、作品制作に活かす

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究①	木村伊兵衛賞受賞作品A群1975年～1979年A
2	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究②	木村伊兵衛賞受賞作品C群1980年～1949年A
3	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究③	木村伊兵衛賞受賞作品D群1950年～1989年A
4	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究④	木村伊兵衛賞受賞作品E群1990年～2004年A
5	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究⑤	木村伊兵衛賞受賞作品F群2005年～2008年A
6	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究⑥	木村伊兵衛賞受賞作品G群2009年～2014年A
7	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究⑦	木村伊兵衛賞受賞作品H群2015～2019年A
8	／	写真誕生①	1800年代：コロジオン湿板写真について
9	／	写真誕生②	1840年代：ガラス乾板写真について
10	／	写真誕生③	タルボットとアーチャーについての研究
11	／	写真伝来・日本	日本への写真伝来、上野彦馬について
12	／	肖像写真	肖像写真ナダールについて
13	／	風景写真	風景写真、フランス革命
14	／	まとめ	提出物チェック、アドバイス
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

毎授業の内容を記録することで
自分の写真史ノートが完成。いつでも振り返ることができる。

☐ 評価方法

課題制作、理解度テスト、提出物での評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）		写真学科		1 年	
授業コード	授業科目名			単位数	担当講師名
	写真史			4	権 泰完
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	時間×回数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必修	64	写真作家として活動

☐ 授業概要

写真史、歴史に残る写真家、フォトグラファーが残した作品そのものを知り、またその時代背景を学び制作意欲の幅を広げる

☐ 授業テーマ

写真の歴史と写真作品を研究し、作品制作に活かす

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	✓	復習	前クールまでのおさらい
2	✓	プレゼン	提出物チェック、アドバイス
3	✓	写真表現①	写真家による探検と冒険、マキシムデュカン
4	✓	写真表現②	ポートレート表現ジュリアマーガレットキャメロン
5	✓	写真と戦争①	初期の写真と戦争の記録
6	✓	写真と戦争②	戦争写真について
7	✓	写真技術の進化	マイブリッジの動体写真について
8	✓	復習	提出物チェック、アドバイス
9	✓	作品性について	アルフレッドスティーグリッツとモノクロプリント
10	✓	都市と地域性①	アッジェと都市の写真について
11	✓	都市と地域性②	スティーグリッツと都市の写真について
12	✓	写真の種類、様式①	ソラリゼーション、シュールレアリズム、マンレイについて
13	✓	写真の種類、様式②	肖像を通じた記録、アウグストザンダーについて
14	✓	復習	提出物チェック、アドバイス
15	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	✓	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

毎授業の内容を記録することで

自分の写真史ノートが完成。いつでも振り返ることができる。

☐ 評価方法

課題制作、提出物での評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）		写真学科		2 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタジオワークⅡ			4	加藤 淳史
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	広告・フォトグラファーとして活動

☐ 授業概要

ライティング技術、イメージ発想力などの向上

☐ 授業テーマ

フォトスタジオでの作品制作

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	/	スタジオ撮影実習	スタジオ撮影復習
2	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(小物)
3	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(ファッションアイテム)
4	/	スタジオ撮影実習	複写(ポスターなど)
5	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影1
6	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影2
7	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影3
8	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
9	/	スタジオ撮影実習	スタジオ撮影復習
10	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(小物)
11	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(ファッションアイテム)
12	/	スタジオ撮影実習	複写(ポスターなど)
13	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影1
14	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影2
15	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影3
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

スタジオ作品の完成

ポートレートライティング技術習得

☐ 評価方法

課題制作、提出物での評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）		写真学科		2 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタジオワークⅡ			4	加藤 淳史
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	広告・フォトグラファーとして活動

☐ 授業概要

ライティング技術、イメージ発想力などの向上

☐ 授業テーマ

フォトスタジオでの作品制作

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	/	スタジオ撮影実習	スタジオ撮影復習
2	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(小物)
3	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(ファッションアイテム)
4	/	スタジオ撮影実習	複写(ポスターなど)
5	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影1
6	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影2
7	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影3
8	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
9	/	スタジオ撮影実習	スタジオ撮影復習
10	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(小物)
11	/	スタジオ撮影実習	商品撮影(ファッションアイテム)
12	/	スタジオ撮影実習	複写(ポスターなど)
13	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影1
14	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影2
15	/	スタジオ撮影実習	ポートレート撮影3
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

スタジオ作品の完成

ポートレートライティング技術習得

☐ 評価方法

課題制作、提出物での評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）		放送・映画学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	CM企画演出I			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	備考
	前期 4月～9月	演習	必修	64	CMプランナー・ディレクター

☐ 授業概要

実際の映像制作を通して業務全体のスケール感やスピード感を体感する。

☐ 授業テーマ

主に広告制作の流れを学び、実際の映像制作のプロセスを体感する

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	企画	課題に対して、複数案の企画コンテを書く。企画を決定する。
2	／	企画	決定した企画コンテを元に演出コンテを書き、演出プランを決定する。
3	／	演出プラン	演出コンテを元に制作の準備を行う。
4	／	演出プラン	実際に撮影を行い、現場での制作進行、演出の立ち回りや注意点を学ぶ。
5	／	テスト撮影	撮影素材を編集する。
6	／	プレビュー	全体での試写を行い、アドバイスをを行う。
7	／	仕上げ	アドバイスを元に修正を行い、作品を完成させる。
8	／	課題1	課題に対しての企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
9	／	課題1	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
10	／	課題1	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
11	／	課題2	課題に対しての企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
12	／	課題2	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
13	／	課題2	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
14	／	課題2	全体を通しての改善点を理解し、完成した映像を分析する。
15	／	仕上げ	アドバイスを元に修正を行い、作品を完成させる。
16	／	振り返り	

☐ 到達目標

作品制作のプロセスを理解する

☐ 評価方法

課題評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		放送・映画学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	CM企画演出I			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	備 考
	後期 10月～3月	演習	必修	64	CMプランナー・ディレクター

☐ 授業概要

複数の課題を体験し、「CMが作れる」ではなく「最適なCMが作れる」を目指す。

☐ 授業テーマ

クオリティアップとマネジメント

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	課題①	課題に対する企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
2	／	課題①	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
3	／	課題①	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
4	／	課題①	課題に対する企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
5	／	課題①	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
6	／	課題①	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
7	／	課題①	全体を通しての改善点を理解し、完成した映像を分析する。
8	／	課題②	課題に対する企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
9	／	課題②	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
10	／	課題②	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
11	／	課題②	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	課題②	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
13	／	課題②	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
14	／	課題②	全体を通しての改善点を理解し、完成した映像を分析する。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

クライアントをより意識した顧客満足を理解し、
クリエイティブが作品の向上に果たせる役割を理解する。

☐ 評価方法

課題評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）

放送・映画学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	映像制作演出			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	備考
	前期 4月～9月	演習	選択	64	CMプランナー・ディレクター

☐ 授業概要

作品制作を通じて自己表現のスキルを高め、客観的な魅力ある一本を完成させる。

☐ 授業テーマ

スキルを駆使した自己表現

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	CMショートムービー制作技術1	テーマの決定と企画案
2	CMショートムービー制作技術1	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフینگ
3	CMショートムービー制作技術1	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
4	CMショートムービー制作技術1	ロケーション、美術やルックの確認とテスト撮影
5	CMショートムービー制作技術1	撮影
6	CMショートムービー制作技術1	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
7	CMショートムービー制作技術1	プレビュー／技術レベルの確認
8	CMショートムービー制作技術2	テーマの決定と企画案
9	CMショートムービー制作技術2	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフینگ
10	CMショートムービー制作技術2	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
11	CMショートムービー制作技術2	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	CMショートムービー制作技術2	撮影
13	CMショートムービー制作技術2	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
14	CMショートムービー制作技術2	プレビュー／技術レベルの確認
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

作品の完成

☐ 評価方法

課題評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）		放送・映画学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	映像制作演出			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	備 考
	後期 10月～3月	演習	選択	64	CMプランナー・ディレクター

☐ 授業概要

作品制作を通じて自己表現のスキルを高め、客観的な魅力ある一本を完成させる。

☐ 授業テーマ

スキルを駆使した自己表現

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	CMショートムービー制作技術3	テーマの決定と企画案
2	CMショートムービー制作技術3	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフイング
3	CMショートムービー制作技術3	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
4	CMショートムービー制作技術3	ロケーション、美術やルックの確認とをテスト撮影
5	CMショートムービー制作技術3	撮影
6	CMショートムービー制作技術3	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
7	CMショートムービー制作技術3	プレビュー／技術レベルの確認
8	CMショートムービー制作技術4	テーマの決定と企画案
9	CMショートムービー制作技術4	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフイング
10	CMショートムービー制作技術4	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
11	CMショートムービー制作技術4	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	CMショートムービー制作技術4	撮影
13	CMショートムービー制作技術4	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
14	CMショートムービー制作技術4	プレビュー／技術レベルの確認
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

作品の完成から演出と技術の再確認

☐ 評価方法

課題評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）		放送・映画学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	CM企画演出I			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	備 考
	前期 4月～9月	演習	必修	64	CMプランナー・ディレクター

☐ 授業概要

実際の映像制作を通して業務全体のスケール感やスピード感を体感する。

☐ 授業テーマ

主に広告制作の流れを学び、実際の映像制作のプロセスを体感する

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	企画	課題に対して、複数案の企画コンテを書く。企画を決定する。
2	／	企画	決定した企画コンテを元に演出コンテを書き、演出プランを決定する。
3	／	演出プラン	演出コンテを元に制作の準備を行う。
4	／	演出プラン	実際に撮影を行い、現場での制作進行、演出の立ち回りや注意点を学ぶ。
5	／	テスト撮影	撮影素材を編集する。
6	／	プレビュー	全体での試写を行い、アドバイスをを行う。
7	／	仕上げ	アドバイスを元に修正を行い、作品を完成させる。
8	／	課題1	課題に対しての企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
9	／	課題1	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
10	／	課題1	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
11	／	課題2	課題に対しての企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
12	／	課題2	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
13	／	課題2	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
14	／	課題2	全体を通しての改善点を理解し、完成した映像を分析する。
15	／	仕上げ	アドバイスを元に修正を行い、作品を完成させる。
16	／	振り返り	

☐ 到達目標

作品制作のプロセスを理解する

☐ 評価方法

課題評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		放送・映画学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	CM企画演出I			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	備 考
	後期 10月～3月	演習	必修	64	CMプランナー・ディレクター

☐ 授業概要

複数の課題を体験し、「CMが作れる」ではなく「最適なCMが作れる」を目指す。

☐ 授業テーマ

クオリティアップとマネジメント

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	課題①	課題に対しての企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
2	／	課題①	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
3	／	課題①	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
4	／	課題①	課題に対しての企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
5	／	課題①	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
6	／	課題①	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
7	／	課題①	全体を通しての改善点を理解し、完成した映像を分析する。
8	／	課題②	課題に対しての企画コンテ制作。企画決定後、演出プランニング開始。チェックを行いながらアドバイスをを行う。
9	／	課題②	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
10	／	課題②	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
11	／	課題②	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	課題②	演出コンテをチェック。細かな要素を積み上げながら、実際の制作準備を始める。
13	／	課題②	撮影、仕上げを経て試写を行う。アドバイスを元に修正作業を行う。
14	／	課題②	全体を通しての改善点を理解し、完成した映像を分析する。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

クライアントをより意識した顧客満足を理解し、
クリエイティブが作品の向上に果たせる役割を理解する。

☐ 評価方法

課題評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）		放送・映画学科 2年			
授業コード	映像制作演出			週間授業時数	担当講師名
				4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	備考
	前期 4月～9月	演習	選択	64	CMプランナー・ディレクター

☐ 授業概要

作品制作を通じて自己表現のスキルを高め、客観的な魅力ある一本を完成させる。

☐ 授業テーマ

スキルを駆使した自己表現

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	CMショートムービー制作技術1	テーマの決定と企画案
2	CMショートムービー制作技術1	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフィング
3	CMショートムービー制作技術1	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
4	CMショートムービー制作技術1	ロケーション、美術やルックの確認とをテスト撮影
5	CMショートムービー制作技術1	撮影
6	CMショートムービー制作技術1	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
7	CMショートムービー制作技術1	プレビュー／技術レベルの確認
8	CMショートムービー制作技術2	テーマの決定と企画案
9	CMショートムービー制作技術2	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフィング
10	CMショートムービー制作技術2	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
11	CMショートムービー制作技術2	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	CMショートムービー制作技術2	撮影
13	CMショートムービー制作技術2	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
14	CMショートムービー制作技術2	プレビュー／技術レベルの確認
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

作品の完成

☐ 評価方法

課題評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		放送・映画学科 2年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	映像制作演出		長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	備考
	後期 10月～3月	演習 選択	CMプランナー・ディレクター

☐ 授業概要

作品制作を通じて自己表現のスキルを高め、客観的な魅力ある一本を完成させる。

☐ 授業テーマ

スキルを駆使した自己表現

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	CMショートムービー制作技術3	テーマの決定と企画案
2	CMショートムービー制作技術3	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフィング
3	CMショートムービー制作技術3	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
4	CMショートムービー制作技術3	ロケーション、美術やルックの確認とをテスト撮影
5	CMショートムービー制作技術3	撮影
6	CMショートムービー制作技術3	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
7	CMショートムービー制作技術3	プレビュー／技術レベルの確認
8	CMショートムービー制作技術4	テーマの決定と企画案
9	CMショートムービー制作技術4	企画コンテプレゼンと選考会、主旨、構成、スタッフィング
10	CMショートムービー制作技術4	演出コンテ、映像化するにあたって具体的な撮影プランを練る
11	CMショートムービー制作技術4	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	CMショートムービー制作技術4	撮影
13	CMショートムービー制作技術4	粗編集、つながりのリズムや全体の構成のバランスを整える
14	CMショートムービー制作技術4	プレビュー／技術レベルの確認
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

作品の完成から演出と技術の再確認

☐ 評価方法

課題評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）

CG映像学科

1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	モーショングラフィックス			4	増田 貴大
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修	64	CGデザイン会社勤務

☐ 授業概要

AfterEffectsの基本的な使い方を習得

☐ 授業テーマ

AfterEffectsをもとに、他のソフトウェアとの連携を通して、映像作品を制作する。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	Adobe After Effects応用Ⅰ①	オノマトペのモーショングラフィックス作成①
2	／	Adobe After Effects応用Ⅰ②	オノマトペのモーショングラフィックス作成②
3	／	Adobe After Effects応用Ⅰ③	オノマトペのモーショングラフィックス作成③
4	／	Adobe After Effects応用Ⅰ④	タイトルモーショングラフィックス作成①
5	／	Adobe After Effects応用Ⅰ⑤	タイトルモーショングラフィックス作成②
6	／	Adobe After Effects応用Ⅰ⑥	タイトルモーショングラフィックス作成③
7	／	作品批評①	プレビュー①
8	／	Adobe After Effects応用Ⅱ①	イベントOP風映像制作①
9	／	Adobe After Effects応用Ⅱ②	イベントOP風映像制作②
10	／	Adobe After Effects応用Ⅱ③	イベントOP風映像制作③
11	／	Adobe After Effects応用Ⅱ④	イベントOP風映像制作④
12	／	Adobe After Effects応用Ⅱ⑤	プロジェクションマッピング①
13	／	Adobe After Effects応用Ⅱ⑥	プロジェクションマッピング②
14	／	作品批評②	プレビュー②
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

AfterEffectsを習得し、制作できるスキルを身につける。

複数のソフトウェアを使用した作品制作。

☐ 評価方法

課題、授業への取り組み方

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）

CG映像学科

1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	コンポジット			4	増田貴大
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修	64	CGデザイン会社勤務

☐ 授業概要

コンポジットソフトと映像合成の基礎を習得

☐ 授業テーマ

VFXやコンポジットの考え方、ソフトの基本的なツールの理解と、最終的な絵作りの品質の向上。

演出に合わせたコンポジットの理解を深め、VFXを用いた作品制作を行う。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	オペレーション①	コンポジットソフトの基本操作とデータ管理の理解
2	／	オペレーション②	コンポジットソフトの基本操作とデータ管理の理解
3	／	映像合成基礎(撮影)①	合成を目的とした撮影基礎
4	／	映像合成基礎(撮影)②	合成を目的とした撮影基礎
5	／	クロマキー合成①	クロマキーを使用した素材のコンポジット
6	／	クロマキー合成②	クロマキーを使用した素材のコンポジット
7	／	クロマキー合成③	クロマキーを使用した素材のコンポジット
8	／	マッチムーブ①	3DCGの素材を利用したコンポジット
9	／	マッチムーブ②	3DCGの素材を利用したコンポジット
10	／	ルックデヴ①	カラーグレーディング基礎
11	／	ルックデヴ②	カラーグレーディング基礎
12	／	VFX作品制作①	VFX制作
13	／	VFX作品制作②	VFX制作
14	／	VFX作品制作③	VFX制作
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

基礎的なコンポジットと、ファイル管理を身につける。

☐ 評価方法

課題、授業への取り組み方

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）

CG映像学科

2 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	コンテンツプロモーション			4	増田 貴大
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	64	CGデザイン会社勤務

☐ 授業概要

映像の質を高め、作品のプロモーション力を高める演習。

☐ 授業テーマ

学生自身が就職活動でプロモーションしやすい作品制作。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	作品研究Ⅰ①	プロモーション素材(ポートフォリオ)考察 レイアウト/デザインにおける効果
2	作品研究Ⅰ②	作品ブラッシュアップとデザイン基礎 自分の作品ストックから展開できるものを選定する
3	ポートフォリオ企画Ⅰ①	ポートフォリオプランニング
4	ポートフォリオ企画Ⅰ②	ラフ案およびプラン修正
5	チェックバック①	第1稿進行チェック
6	試写①	提出・チェック
7	ブラッシュアップ①	修正・ストック
8	作品研究Ⅱ①	デモリール(作品集)考察 モーション・尺、音における印象
9	作品研究Ⅱ②	デモリールプランニング
10	ポートフォリオ企画Ⅰ①	ラフ案およびプラン修正
11	ポートフォリオ企画Ⅰ②	オフライン進行チェック
12	チェックバック②	オフライン進行チェック
13	試写②	提出・チェック
14	ブラッシュアップ②	提出・ストック
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

就活向け作品集の制作・ブラッシュアップ。

☐ 評価方法

課題状況・授業への取り組み方

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）		CG映像学科		2 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	コンテンツプロモーション			4	増田 貴大
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	CGデザイン会社勤務

☐ 授業概要

映像の質を高め、作品のプロモーション力を高める演習。

☐ 授業テーマ

ポストプロダクションを通してクオリティを向上させる

作品制作およびポートフォリオ／デモリールリメイク

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ポストプロダクション①	素材の準備と選定
2	／	ポストプロダクション②	繋ぎとリズムの見直し
3	／	ポストプロダクション③	ラインに合わせたリテイク
4	／	ポストプロダクション④	カラーグレーディングとエフェクトの考察
5	／	ポストプロダクション⑤	再編集と音声MIX
6	／	ポストプロダクション⑥	未使用素材からID抜き出し
7	／	ポストプロダクション⑦	作品としての仕上げとデータ変換
8	／	作品制作①	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
9	／	作品制作②	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
10	／	作品制作③	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
11	／	作品制作④	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
12	／	作品制作⑤	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
13	／	作品制作⑥	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
14	／	作品制作⑦	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

業界で活躍するためのスキルの向上。

☐ 評価方法

課題状況・授業への取り組み方

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		CG映像学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	モーションデザイン			4	増田 貴大
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修	64	CGデザイン会社勤務

☐ 授業概要

AfterEffectsの基本的な使い方を習得

☐ 授業テーマ

AfterEffectsをもとに、他のソフトウェアとの連携を通して、映像作品を制作する。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	Adobe After Effects応用Ⅰ①	オノマトペのモーショングラフィックス作成①
2	／	Adobe After Effects応用Ⅰ②	オノマトペのモーショングラフィックス作成②
3	／	Adobe After Effects応用Ⅰ③	オノマトペのモーショングラフィックス作成③
4	／	Adobe After Effects応用Ⅰ④	タイトルモーショングラフィックス作成①
5	／	Adobe After Effects応用Ⅰ⑤	タイトルモーショングラフィックス作成②
6	／	Adobe After Effects応用Ⅰ⑥	タイトルモーショングラフィックス作成③
7	／	作品批評①	プレビュー①
8	／	Adobe After Effects応用Ⅱ①	イベントOP風映像制作①
9	／	Adobe After Effects応用Ⅱ②	イベントOP風映像制作②
10	／	Adobe After Effects応用Ⅱ③	イベントOP風映像制作③
11	／	Adobe After Effects応用Ⅱ④	イベントOP風映像制作④
12	／	Adobe After Effects応用Ⅱ⑤	プロジェクションマッピング①
13	／	Adobe After Effects応用Ⅱ⑥	プロジェクションマッピング②
14	／	作品批評②	プレビュー②
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

AfterEffectsを習得し、制作できるスキルを身につける。

複数のソフトウェアを使用した作品制作。

☐ 評価方法

課題、授業への取り組み方

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）		CG映像学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	コンポジット			4	増田貴大
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修	64	CGデザイン会社勤務

☐ 授業概要

コンポジットソフトと映像合成の基礎を習得

☐ 授業テーマ

VFXやコンポジットの考え方、ソフトの基本的なツールの理解と、最終的な絵作りの品質の向上。

演出に合わせたコンポジットの理解を深め、VFXを用いた作品制作を行う。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	オペレーション①	コンポジットソフトの基本操作とデータ管理の理解
2	／	オペレーション②	コンポジットソフトの基本操作とデータ管理の理解
3	／	映像合成基礎(撮影)①	合成を目的とした撮影基礎
4	／	映像合成基礎(撮影)②	合成を目的とした撮影基礎
5	／	クロマキー合成①	クロマキーを使用した素材のコンポジット
6	／	クロマキー合成②	クロマキーを使用した素材のコンポジット
7	／	クロマキー合成③	クロマキーを使用した素材のコンポジット
8	／	マッチムーブ①	3DCGの素材を利用したコンポジット
9	／	マッチムーブ②	3DCGの素材を利用したコンポジット
10	／	ルックデヴ①	カラーグレーディング基礎
11	／	ルックデヴ②	カラーグレーディング基礎
12	／	VFX作品制作①	VFX制作
13	／	VFX作品制作②	VFX制作
14	／	VFX作品制作③	VFX制作
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

基礎的なコンポジットと、ファイル管理を身につける。

☐ 評価方法

課題、授業への取り組み方

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		CG映像学科		2 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	コンテンツプロモーション			4	増田 貴大
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	選択	64	CGデザイン会社勤務

☐ 授業概要

映像の質を高め、作品のプロモーション力を高める演習。

☐ 授業テーマ

学生自身が就職活動でプロモーションしやすい作品制作。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	作品研究Ⅰ①	プロモーション素材(ポートフォリオ)考察 レイアウト/デザインにおける効果
2	作品研究Ⅰ②	作品ブラッシュアップとデザイン基礎 自分の作品ストックから展開できるものを選定する
3	ポートフォリオ企画Ⅰ①	ポートフォリオプランニング
4	ポートフォリオ企画Ⅰ②	ラフ案およびプラン修正
5	チェックバック①	第1稿進行チェック
6	試写①	提出・チェック
7	ブラッシュアップ①	修正・ストック
8	作品研究Ⅱ①	デモリール(作品集)考察 モーション・尺、音における印象
9	作品研究Ⅱ②	デモリールプランニング
10	ポートフォリオ企画Ⅰ①	ラフ案およびプラン修正
11	ポートフォリオ企画Ⅰ②	オフライン進行チェック
12	チェックバック②	オフライン進行チェック
13	試写②	提出・チェック
14	ブラッシュアップ②	提出・ストック
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

就活向け作品集の制作・ブラッシュアップ。

☐ 評価方法

課題状況・授業への取り組み方

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）		CG映像学科		2 年	
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
		コンテンツプロモーション		4	増田 貴大
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	CGデザイン会社勤務

☐ 授業概要

映像の質を高め、作品のプロモーション力を高める演習。

☐ 授業テーマ

ポストプロダクションを通してクオリティを向上させる

作品制作およびポートフォリオ／デモリールリメイク

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	ポストプロダクション①	素材の準備と選定
2	／	ポストプロダクション②	繋ぎとリズムの見直し
3	／	ポストプロダクション③	ラインに合わせたりテイク
4	／	ポストプロダクション④	カラーグレーディングとエフェクトの考察
5	／	ポストプロダクション⑤	再編集と音声MIX
6	／	ポストプロダクション⑥	未使用素材からID抜き出し
7	／	ポストプロダクション⑦	作品としての仕上げとデータ変換
8	／	作品制作①	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
9	／	作品制作②	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
10	／	作品制作③	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
11	／	作品制作④	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
12	／	作品制作⑤	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
13	／	作品制作⑥	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
14	／	作品制作⑦	各ジャンル(モデル／アニメーション／映像編集)作品制作、ポートフォリオまとめ
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

業界で活躍するためのスキルの向上。

☐ 評価方法

課題状況・授業への取り組み方

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度(前期)		声優学科		1 年	
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
		アフレコ基礎		4	水島 理沙
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	64	タレント事務所所属、タレント業

□ 授業概要

収録スタジオにてアフレコ基礎トレーニング

□ 授業テーマ

正しい発音とタイミング、マイクワークで、短尺のアニメアフレコを収録

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	アフレコ基礎①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／基本的な読みのレクチャー
2	／	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク決め、尺調など
3	／	アフレコ基礎③	決まったキャストによる小返し①(タイミングの確定と発音指導)
4	／	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(タイミング、発音のおさらいと表現指導)
5	／	アフレコ基礎⑤	全通し①→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③(改善箇所)
6	／	アフレコ基礎⑥	全通し②→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し④(最終調整)
7	／	アフレコ基礎⑦	最終リハーサル本番収録(アニメ短尺)プレビュー(各自レポート記入)レポート提出
8	／	アフレコ応用①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／基本的な読みのレクチャー②
9	／	アフレコ応用②	まわしアフレコにてキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調、暗記など
10	／	アフレコ応用③	決まったキャストによる小返し①(タイミングの確定と暗記の定着)
11	／	アフレコ応用④	決まったキャストによる小返し②(タイミング、暗記のおさらいと、表現の指導)
12	／	アフレコ応用⑤	全通し①→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③(改善箇所)
13	／	アフレコ応用⑥	全通し②→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し④(最終調整)
14	／	アフレコ応用⑦	最終リハーサル 本番収録(洋画中尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

今日における声優業界を知り、仕事への意識向上を図る

□ 評価方法

アフレコ収録による評価

□ 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

□ その他

2025年度(後期)		声優学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ基礎			4	水島 理沙
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	64	タレント事務所所属、タレント業

☐ 授業概要

アフレコ収録・応用

☐ 授業テーマ

★心の反映(表情筋) ★動きの反映(呼吸の芝居など)

★距離感の反映(声を飛ばす目的の設定) を意識してアフレコを収録

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	アフレコ基礎①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／読みの応用レクチャー①
2	／	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調など
3	／	アフレコ基礎③ 1	決まったキャストによる小返し①(心の反映注力指導)
4	／	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(動きの反映・距離感の反映注力指導)
5	／	アフレコ基礎⑤	ギャ指導→全通し→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③
6	／	アフレコ基礎⑥	全通し→最終調整 最終リハーサルまで。
7	／	アフレコ基礎⑦	本番収録(アニメ長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
8	／	アフレコ応用①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／読みの応用レクチャー②
9	／	アフレコ応用②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調、暗記など
10	／	アフレコ応用③	決まったキャストによる小返し①(心の反映に注力指導)
11	／	アフレコ応用④	決まったキャストによる小返し②(動き、距離感の反映に注力指導)
12	／	アフレコ応用⑤	台本なし全通し①→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③
13	／	アフレコ応用⑥	台本なし全通し②→最終調整 最終リハーサルまで。
14	／	アフレコ応用⑦	本番収録(洋画長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

本番収録 発表

☐ 評価方法

配役を演じ・収録・評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

☐ その他

2025年度(前期)		声優学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優台本対策A			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	64	劇団万能グローブガラパゴスダイナモス 主宰/演出

☐ 授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

☐ 授業テーマ

台詞技術の向上

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	声優審査対策①	課題台本配布、発表、質疑応答
2	声優審査対策②	課題台本配布、発表、質疑応答
3	声優審査対策③	課題台本配布、発表、質疑応答
4	声優審査対策④	課題台本配布、発表、質疑応答
5	声優審査対策⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
6	声優審査対策⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
7	声優審査対策⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
8	声優審査応用①	課題台本配布、発表、質疑応答
9	声優審査応用②	課題台本配布、発表、質疑応答
10	声優審査応用③	課題台本配布、発表、質疑応答
11	声優審査応用④	課題台本配布、発表、質疑応答
12	声優審査応用⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
13	声優審査応用⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
14	声優審査応用⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

課題台本オーディション発表

☐ 評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

☐ 教科書・参考文献

講師オリジナル

☐ その他

2025年度(後期)		声優学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優台本対策A			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	64	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

☐ 授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

☐ 授業テーマ

台詞技術の向上

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	/	声優審査対策①	課題台本配布、発表、質疑応答
2	/	声優審査対策②	課題台本配布、発表、質疑応答
3	/	声優審査対策③	課題台本配布、発表、質疑応答
4	/	声優審査対策④	課題台本配布、発表、質疑応答
5	/	声優審査対策⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
6	/	声優審査対策⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
7	/	声優審査対策⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
8	/	声優審査応用①	課題台本配布、発表、質疑応答
9	/	声優審査応用②	課題台本配布、発表、質疑応答
10	/	声優審査応用③	課題台本配布、発表、質疑応答
11	/	声優審査応用④	課題台本配布、発表、質疑応答
12	/	声優審査応用⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
13	/	声優審査応用⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
14	/	声優審査応用⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

課題台本オーディション発表

☐ 評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

☐ 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

☐ その他

2025年度(前期)		声優学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ基礎			4	水島 理沙
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	64	タレント事務所所属、タレント業

□ 授業概要

収録スタジオにてアフレコ基礎トレーニング

□ 授業テーマ

正しい発音とタイミング、マイクワークで、短尺のアニメアフレコを収録

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	アフレコ基礎①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／基本的な読みのレクチャー
2	／	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク決め、尺調など
3	／	アフレコ基礎③	決まったキャストによる小返し①(タイミングの確定と発音指導)
4	／	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(タイミング、発音のおさらいと表現指導)
5	／	アフレコ基礎⑤	全通し①→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③(改善箇所)
6	／	アフレコ基礎⑥	全通し②→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し④(最終調整)
7	／	アフレコ基礎⑦	最終リハーサル本番収録(アニメ短尺)プレビュー(各自レポート記入)レポート提出
8	／	アフレコ応用①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／基本的な読みのレクチャー②
9	／	アフレコ応用②	まわしアフレコにてキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調、暗記など
10	／	アフレコ応用③	決まったキャストによる小返し①(タイミングの確定と暗記の定着)
11	／	アフレコ応用④	決まったキャストによる小返し②(タイミング、暗記のおさらいと、表現の指導)
12	／	アフレコ応用⑤	全通し①→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③(改善箇所)
13	／	アフレコ応用⑥	全通し②→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し④(最終調整)
14	／	アフレコ応用⑦	最終リハーサル 本番収録(洋画中尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

今日における声優業界を知り、仕事への意識向上を図る

□ 評価方法

アフレコ収録による評価

□ 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

□ その他

2025年度(後期)		声優学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ基礎			4	水島 理沙
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	64	タレント事務所所属、タレント業

☐ 授業概要

アフレコ収録・応用

☐ 授業テーマ

★心の反映(表情筋) ★動きの反映(呼吸の芝居など)

★距離感の反映(声を飛ばす目的の設定) を意識してアフレコを収録

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	アフレコ基礎①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／読みの応用レクチャー①
2	／	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調など
3	／	アフレコ基礎③ 1	決まったキャストによる小返し①(心の反映注力指導)
4	／	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(動きの反映・距離感の反映注力指導)
5	／	アフレコ基礎⑤	ギャグ指導→全通し→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③
6	／	アフレコ基礎⑥	全通し→最終調整 最終リハーサルまで。
7	／	アフレコ基礎⑦	本番収録(アニメ長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
8	／	アフレコ応用①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／読みの応用レクチャー②
9	／	アフレコ応用②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調、暗記など
10	／	アフレコ応用③	決まったキャストによる小返し①(心の反映に注力指導)
11	／	アフレコ応用④	決まったキャストによる小返し②(動き、距離感の反映に注力指導)
12	／	アフレコ応用⑤	台本なし全通し①→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③
13	／	アフレコ応用⑥	台本なし全通し②→最終調整 最終リハーサルまで。
14	／	アフレコ応用⑦	本番収録(洋画長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

本番収録 発表

☐ 評価方法

配役を演じ・収録・評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

☐ その他

2025年度(前期)		声優学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優台本対策A			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必修	64	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

☐ 授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

☐ 授業テーマ

台詞技術の向上

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	声優審査対策①	課題台本配布、発表、質疑応答
2	／	声優審査対策②	課題台本配布、発表、質疑応答
3	／	声優審査対策③	課題台本配布、発表、質疑応答
4	／	声優審査対策④	課題台本配布、発表、質疑応答
5	／	声優審査対策⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
6	／	声優審査対策⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
7	／	声優審査対策⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
8	／	声優審査応用①	課題台本配布、発表、質疑応答
9	／	声優審査応用②	課題台本配布、発表、質疑応答
10	／	声優審査応用③	課題台本配布、発表、質疑応答
11	／	声優審査応用④	課題台本配布、発表、質疑応答
12	／	声優審査応用⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
13	／	声優審査応用⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
14	／	声優審査応用⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

課題台本オーディション発表

☐ 評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

☐ 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

☐ その他

2025年度(後期)		声優学科		1 年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優台本対策A			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必修	64	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

□ 授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

□ 授業テーマ

台詞技術の向上

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	声優審査対策①	課題台本配布、発表、質疑応答
2	／	声優審査対策②	課題台本配布、発表、質疑応答
3	／	声優審査対策③	課題台本配布、発表、質疑応答
4	／	声優審査対策④	課題台本配布、発表、質疑応答
5	／	声優審査対策⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
6	／	声優審査対策⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
7	／	声優審査対策⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
8	／	声優審査応用①	課題台本配布、発表、質疑応答
9	／	声優審査応用②	課題台本配布、発表、質疑応答
10	／	声優審査応用③	課題台本配布、発表、質疑応答
11	／	声優審査応用④	課題台本配布、発表、質疑応答
12	／	声優審査応用⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
13	／	声優審査応用⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
14	／	声優審査応用⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

課題台本オーディション発表

□ 評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

□ 教科書 ・ 参考文献

講師オリジナル

□ その他

2024年度(前期) 俳優学科 1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	演劇ゼミナル基礎			8	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	128	劇団goto 主宰/代表

☐ 授業概要

基礎練習を通して、俳優としての心身を確立します。俳優としての心身の確立とは、与えられた登場人物、シーンを演じるための肉体と精神を持ち合わせているということです。また、夏休み前の演劇公演に向けて、課題の台本分析、キャスティング、読み合わせ、半立ち稽古、立ち稽古、通し稽古のように、演劇公演本番までの一連の流れを体験します。

☐ 授業テーマ

プレスクールで得た、俳優マインドを実践として体感していきます。俳優の特権的な体験である「劇的体験」を体現します。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	基礎練習	仮キャスティングにて読合せ
2	／	基礎練習	本キャスティングにて読合せ、半立ち稽古①
3	／	基礎練習	半立ち稽古②
4	／	基礎練習	半立ち稽古③
5	／	基礎練習	半立ち稽古④、立稽古①
6	／	基礎練習	立稽古②
7	／	基礎練習	抜き稽古、荒通し
8	／	基礎練習	小返し
9	／	基礎練習	小返し
10	／	基礎練習	小返し、通し稽古
11	／	基礎練習	小返し、通し稽古
12	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
13	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
14	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

演劇公演への出演

基礎練習の必要性の理解

☐ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

☐ 教科書・参考文献

演劇祭用の課題台本

☐ その他

2024年度(後期) 俳優学科 1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	演劇ゼミナール基礎			8	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	128	劇団goto 主宰/代表

□ 授業概要

基礎練習は俳優業界を目指すのであるなら継続的に続きます。与えられた登場人物・シーンを演じるための心身を確立します。俳優学科では、1年間に2回の演劇公演への出演をしますが、舞台演技に求められることを、体感的に学びます。

□ 授業テーマ

ストリートプレイの充実を求めます。演劇公演は総合芸術と言われます。照明、音響、大道具、小道具など演出は多岐に渡りますが、俳優学科は、自分自身が表現メディア故、上記の演出がなくとも芝居を成立させないといけないという認識の元、演じます。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	基礎練習	仮キャストにて読合せ
2	／	基礎練習	本キャストにて読合せ、半立ち稽古①
3	／	基礎練習	半立ち稽古②
4	／	基礎練習	半立ち稽古③
5	／	基礎練習	半立ち稽古④、立稽古①
6	／	基礎練習	立稽古②
7	／	基礎練習	抜き稽古、荒通し
8	／	基礎練習	小返し
9	／	基礎練習	小返し
10	／	基礎練習	小返し、通し稽古
11	／	基礎練習	小返し、通し稽古
12	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
13	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
14	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演劇公演への出演
基礎練習リードの担当

□ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

□ 教科書・参考文献

演劇祭用の課題台本

□ その他

2024年度(前期) 俳優学科 1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	演劇ゼミナル基礎			8	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	128	劇団goto 主宰/代表

□ 授業概要

基礎練習を通して、俳優としての心身を確立します。俳優としての心身の確立とは、与えられた登場人物、シーンを演じるための肉体と精神を持ち合わせているということです。また、夏休み前の演劇公演に向けて、課題の台本分析、キャスティング、読み合わせ、半立ち稽古、立ち稽古、通し稽古のように、演劇公演本番までの一連の流れを体験します。

□ 授業テーマ

プレスクールで得た、俳優マインドを実践として体感していきます。俳優の特権的な体験である「劇的体験」を体現します。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	基礎練習	仮キャスティングにて読合せ
2	／	基礎練習	本キャスティングにて読合せ、半立ち稽古①
3	／	基礎練習	半立ち稽古②
4	／	基礎練習	半立ち稽古③
5	／	基礎練習	半立ち稽古④、立稽古①
6	／	基礎練習	立稽古②
7	／	基礎練習	抜き稽古、荒通し
8	／	基礎練習	小返し
9	／	基礎練習	小返し
10	／	基礎練習	小返し、通し稽古
11	／	基礎練習	小返し、通し稽古
12	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
13	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
14	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

演劇公演への出演

基礎練習の必要性の理解

□ 教科書・参考文献

演劇祭用の課題台本

□ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

□ その他

2024年度(後期) 俳優学科 1 年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	演劇ゼミナール基礎			8	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	128	劇団goto 主宰/代表

☐ 授業概要

基礎練習は俳優業界を目指すのであるなら継続的に続きます。与えられた登場人物・シーンを演じるための心身を確立します。俳優学科では、1年間に2回の演劇公演への出演をしますが、舞台演技に求められることを、体感的に学びます。

☐ 授業テーマ

ストレートプレイの充実を求めます。演劇公演は総合芸術と言われます。照明、音響、大道具、小道具など演出は多岐に渡りますが、俳優学科は、自分自身が表現メディア故、上記の演出がなくとも芝居を成立させないといけないという認識の元、演じます。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	基礎練習	仮キャストにて読合せ
2	／	基礎練習	本キャストにて読合せ、半立ち稽古①
3	／	基礎練習	半立ち稽古②
4	／	基礎練習	半立ち稽古③
5	／	基礎練習	半立ち稽古④、立稽古①
6	／	基礎練習	立稽古②
7	／	基礎練習	抜き稽古、荒通し
8	／	基礎練習	小返し
9	／	基礎練習	小返し
10	／	基礎練習	小返し、通し稽古
11	／	基礎練習	小返し、通し稽古
12	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
13	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
14	／	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

演劇公演への出演

基礎練習リードの担当

☐ 評価方法

演劇公演への出演による総合評価

☐ 教科書・参考文献

演劇祭用の課題台本

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1 年		
授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーション I		4	山臺 昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数
	前期 4月～9月	演習	選択	64
				実務経験
				レコーディング実務

□ 授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

□ 授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	PTオペレーションI-1	オリエンテーション
2	／	PTオペレーションI-2	Native/DSPプラグイン
3	／	PTオペレーションI-3	ロクロス等フェードの応用
4	／	PTオペレーションI-4	ビートディテクティブ
5	／	PTオペレーションI-5	AudioSuite
6	／	PTオペレーションI-6	ダブリングなどの手法を用いた録音方法
7	／	PTオペレーションI-7	ボーカルエディット①(修正ソフトを用いない
8	／	PTオペレーションI-8	ボーカルエディット②(修正ソフトを使用
9	／	PTオペレーションI-9	オリエンテーション
10	／	PTオペレーションI-10	クリップ情報について解説
11	／	PTオペレーションI-11	ステムトラックの作成方法
12	／	PTオペレーションI-12	変拍子のセッションの作成
13	／	PTオペレーションI-13	イン/エクスポート・バウンス
14	／	PTオペレーションI-14	グループ化の実用例
15	／	PTオペレーションI-15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーションI-16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得。

□ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）

音響学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーションⅠ			4	山臺 昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	レコーディング実務

☐ 授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	PTオペレーションⅠ-17	オリエンテーション
2	／	PTオペレーションⅠ-18	タブを用いた編集
3	／	PTオペレーションⅠ-19	メーターの種類
4	／	PTオペレーションⅠ-20	エラスティックオーディオ
5	／	PTオペレーションⅠ-21	サイドチェーン
6	／	PTオペレーションⅠ-22	トラブルシューティング
7	／	PTオペレーションⅠ-23	テイク管理・セレクト
8	／	PTオペレーションⅠ-24	テイク管理・セレクト
9	／	PTオペレーションⅠ-25	オリエンテーション
10	／	PTオペレーションⅠ-26	オペレーション実習、制作作業
11	／	PTオペレーションⅠ-27	オペレーション実習、制作作業
12	／	PTオペレーションⅠ-28	オペレーション実習、制作作業
13	／	PTオペレーションⅠ-29	オペレーション実習、制作作業
14	／	PTオペレーションⅠ-30	オペレーション実習、制作作業
15	／	PTオペレーションⅠ-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーションⅠ-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティング			4	檀浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	選択	64	プランニング・マーケティング・制作

☐ 授業概要

マーケティングが有効かどうか？を検証します。

マーケティングが有効だと理解し、実践に活用できるように整えます。

☐ 授業テーマ

大企業のビジネスモデルからマーケティング基礎を学びます。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	/	マーケティングI-1	さまざまなマーケティングの定義
2	/	マーケティングI-2	マーケティングは誰がするのか
3	/	マーケティングI-3	マーケティングの考え方は変わっていく
4	/	マーケティングI-4	マーケティングの基本概念（ニーズと市場）
5	/	マーケティングI-5	マーケティングの基本概念（ベネフィット、価値、他）
6	/	マーケティングI-6	マーケティングに求められる役割
7	/	マーケティングI-7	振り返り
8	/	マーケティングI-8	外部環境分析PEST
9	/	マーケティングI-9	3C分析
10	/	マーケティングI-10	SWOT分析
11	/	マーケティングI-11	SWOT分析 内部環境とマトリクス
12	/	マーケティングI-12	マーケティングの目標の設定
13	/	マーケティングI-13	STPの概要
14	/	マーケティングI-14	セグメンテーション（市場細分化）
15	/	マーケティングI-15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	マーケティングI-16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）

音響学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティング			4	檀浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	64	プランニング・マーケティング・制作

☐ 授業概要

マーケティングが有効かどうか？を検証します。

マーケティングが有効だと理解し、実践に活用できるように整えます。

☐ 授業テーマ

大企業のビジネスモデルからマーケティング基礎を学びます。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	マーケティング I-17	さまざまなマーケティングの定義
2	／	マーケティング I-18	マーケティングは誰がするのか
3	／	マーケティング I-19	マーケティングの考え方は変わっていく
4	／	マーケティング I-20	マーケティングの基本概念（ニーズと市場）
5	／	マーケティング I-21	マーケティングの基本概念（ベネフィット、価値、他）
6	／	マーケティング I-22	マーケティングに求められる役割
7	／	マーケティング I-23	振り返り
8	／	マーケティング I-24	外部環境分析PEST
9	／	マーケティング I-25	3C分析
10	／	マーケティング I-26	SWOT分析
11	／	マーケティング I-27	SWOT分析 内部環境とマトリクス
12	／	マーケティング I-28	マーケティングの目標の設定
13	／	マーケティング I-29	STPの概要
14	／	マーケティング I-30	セグメンテーション（市場細分化）
15	／	マーケティング I-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	マーケティング I-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

イベントを運営する上でマーケティングの必要性の理解。

☐ 評価方法

筆記試験

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1 年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーション I			4	山臺 昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	レコーディング実務

☐ 授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	PTオペレーション I-1	オリエンテーション
2	／	PTオペレーション I-2	Native/DSPプラグイン
3	／	PTオペレーション I-3	ロクロス等フェードの応用
4	／	PTオペレーション I-4	ビートディテクティブ
5	／	PTオペレーション I-5	AudioSuite
6	／	PTオペレーション I-6	ダブリングなどの手法を用いた録音方法
7	／	PTオペレーション I-7	ボーカルエディット①(修正ソフトを用いない)
8	／	PTオペレーション I-8	ボーカルエディット②(修正ソフトを使用)
9	／	PTオペレーション I-9	オリエンテーション
10	／	PTオペレーション I-10	クリップ情報について解説
11	／	PTオペレーション I-11	ステムトラックの作成方法
12	／	PTオペレーション I-12	変拍子のセッションの作成
13	／	PTオペレーション I-13	イン/エクスポート・バウンス
14	／	PTオペレーション I-14	グループ化の実用例
15	／	PTオペレーション I-15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーション I-16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーション I			4	山臺 昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	レコーディング実務

☐ 授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	PTオペレーション I-17	オリエンテーション
2	／	PTオペレーション I-18	タブを用いた編集
3	／	PTオペレーション I-19	メーターの種類
4	／	PTオペレーション I-20	エラスティックオーディオ
5	／	PTオペレーション I-21	サイドチェイン
6	／	PTオペレーション I-22	トラブルシューティング
7	／	PTオペレーション I-23	テイク管理・セレクト
8	／	PTオペレーション I-24	テイク管理・セレクト
9	／	PTオペレーション I-25	オリエンテーション
10	／	PTオペレーション I-26	オペレーション実習、制作作業
11	／	PTオペレーション I-27	オペレーション実習、制作作業
12	／	PTオペレーション I-28	オペレーション実習、制作作業
13	／	PTオペレーション I-29	オペレーション実習、制作作業
14	／	PTオペレーション I-30	オペレーション実習、制作作業
15	／	PTオペレーション I-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーション I-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1 年		
授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	マーケティング		4	檀浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択 年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	選択 64	プランニング・マーケティング・制作

☐ 授業概要

マーケティングが有効かどうか？を検証します。

マーケティングが有効だと理解し、実践に活用できるように整えます。

☐ 授業テーマ

大企業のビジネスモデルからマーケティング基礎を学びます。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	✓	マーケティングⅠ-1	さまざまなマーケティングの定義
2	✓	マーケティングⅠ-2	マーケティングは誰がするのか
3	✓	マーケティングⅠ-3	マーケティングの考え方は変わっていく
4	✓	マーケティングⅠ-4	マーケティングの基本概念（ニーズと市場）
5	✓	マーケティングⅠ-5	マーケティングの基本概念（ベネフィット、価値、他）
6	✓	マーケティングⅠ-6	マーケティングに求められる役割
7	✓	マーケティングⅠ-7	振り返り
8	✓	マーケティングⅠ-8	外部環境分析PEST
9	✓	マーケティングⅠ-9	3C分析
10	✓	マーケティングⅠ-10	SWOT分析
11	✓	マーケティングⅠ-11	SWOT分析 内部環境とマトリクス
12	✓	マーケティングⅠ-12	マーケティングの目標の設定
13	✓	マーケティングⅠ-13	STPの概要
14	✓	マーケティングⅠ-14	セグメンテーション（市場細分化）
15	✓	マーケティングⅠ-15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	✓	マーケティングⅠ-16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）

音響学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティング			4	檀浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	64	プランニング・マーケティング・制作

☐ 授業概要

マーケティングが有効かどうか？を検証します。

マーケティングが有効だと理解し、実践に活用できるように整えます。

☐ 授業テーマ

大企業のビジネスモデルからマーケティング基礎を学びます。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	/	マーケティング I-17	さまざまなマーケティングの定義
2	/	マーケティング I-18	マーケティングは誰がするのか
3	/	マーケティング I-19	マーケティングの考え方は変わっていく
4	/	マーケティング I-20	マーケティングの基本概念（ニーズと市場）
5	/	マーケティング I-21	マーケティングの基本概念（ベネフィット、価値、他）
6	/	マーケティング I-22	マーケティングに求められる役割
7	/	マーケティング I-23	振り返り
8	/	マーケティング I-24	外部環境分析PEST
9	/	マーケティング I-25	3C分析
10	/	マーケティング I-26	SWOT分析
11	/	マーケティング I-27	SWOT分析 内部環境とマトリクス
12	/	マーケティング I-28	マーケティングの目標の設定
13	/	マーケティング I-29	STPの概要
14	/	マーケティング I-30	セグメンテーション（市場細分化）
15	/	マーケティング I-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	マーケティング I-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

イベントを運営する上でマーケティングの必要性の理解。

☐ 評価方法

筆記試験

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）

ミュージッククリエイト学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサブルテクニクⅠ			8	永田 健志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必修	128	プロミュージシャン

☐ 授業概要

学内コンサートホールを使っの、「合奏」を通じて、楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す実践の基礎的な取り組み。

☐ 授業テーマ

楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	導入	オリエンテーション
2	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
3	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
4	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性
5	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2）
6	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲
7	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏
8	／	アンサンブル	ブルース研究、簡単なブルースセッション
9	／	アンサンブル	オリエンテーション
10	／	アンサンブル	16ビートのフィーリングの習得
11	／	アンサンブル	シャッフルのリズム
12	／	アンサンブル	ファンクグルーヴ
13	／	アンサンブル	セッション（合奏）
14	／	アンサンブル	セッション（合奏）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書・参考文献☐ その他

2025年度（後期）

ミュージッククリエイト学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサブルテクニクⅠ			8	永田 健志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修	128	プロミュージシャン

☐ 授業概要

学内コンサートホールを使っの、「合奏」を通じて、楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す実践の基礎的な取り組み。

☐ 授業テーマ

楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	導入	オリエンテーション
2	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
3	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
4	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性
5	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2）
6	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲
7	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏
8	／	アンサンブル	ブルース研究、簡単なブルースセッション
9	／	アンサンブル	オリエンテーション
10	／	アンサンブル	16ビートのフィーリングの習得
11	／	アンサンブル	シャッフルのリズム
12	／	アンサンブル	ファンクグルーヴ
13	／	アンサンブル	セッション（合奏）
14	／	アンサンブル	セッション（合奏）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書・参考文献☐ その他

2025年度（前期）		ミュージッククリエイト学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサブルテクニクⅠ			8	永田 健志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必修	128	プロミュージシャン

☐ 授業概要

学内コンサートホールを使つての、「合奏」を通じて、楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す実践の基礎的な取り組み。

☐ 授業テーマ

楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	導入	オリエンテーション
2	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
3	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
4	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性
5	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2）
6	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲
7	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏
8	／	アンサンブル	ブルース研究、簡単なブルースセッション
9	／	アンサンブル	オリエンテーション
10	／	アンサンブル	16ビートのフィーリングの習得
11	／	アンサンブル	シャッフルのリズム
12	／	アンサンブル	ファンクグルーヴ
13	／	アンサンブル	セッション（合奏）
14	／	アンサンブル	セッション（合奏）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書・参考文献☐ その他

2025年度（後期）		ミュージッククリエイイト学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサブルテクニックⅠ			8	永田 健志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修	128	プロミュージシャン

☐ 授業概要

学内コンサートホールを使つての、「合奏」を通じて、楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す実践の基礎的な取り組み。

☐ 授業テーマ

楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	導入	オリエンテーション
2	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
3	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
4	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性
5	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2）
6	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲
7	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏
8	／	アンサンブル	ブルース研究、簡単なブルースセッション
9	／	アンサンブル	オリエンテーション
10	／	アンサンブル	16ビートのフィーリングの習得
11	／	アンサンブル	シャッフルのリズム
12	／	アンサンブル	ファンクグルーヴ
13	／	アンサンブル	セッション（合奏）
14	／	アンサンブル	セッション（合奏）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書・参考文献

☐ その他

2025年度（後期） マスコミ出版・芸能学科 1年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	著作権			2	讃井 啓二郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必修	32	広告業界勤務経験

☐ 授業概要

メディアコンテンツを適正に扱う上で、確実に理解をしておくべき知的財産権「著作権」

についての知識を修得

実際に社会に公開されているメディアコンテンツを題材に、逆引きでの分析をディスカッション・ディベートで行う

☐ 授業テーマ

過去の実例などを元に、メディアビジネスで使用する著作権を理解する。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	著作権1	特許・意匠・実用新案・商標・著作権について
2	／	著作権2	小説、脚本、論文、講演そのほかの美術の著作物
3	／	著作権3	音楽の著作物・絵画、版画、彫刻そのほかの美術の著作物
4	／	著作権4	建築の著作物・写真の著作物・映画の著作物
5	／	著作権5	プログラムの著作物・二次的著作物・編集著作物、データベースの著作物
6	／	著作権6	公表権・氏名表示権・同一性保持権
7	／	著作権7	複製権
8	／	著作権8	上演権・演奏権
9	／	著作権9	上映権
10	／	著作権10	公衆送信権・公の伝達権
11	／	著作権11	口述権・展示権
12	／	著作権12	頒布権・譲渡権
13	／	著作権13	貸与権
14	／	著作権14	翻訳権・翻案権
15	／	著作権15	次的著作物の利用権
16	／	著作権16	レポート作成

☐ 到達目標

メディアビジネスで使用する著作権の理解

☐ 評価方法

提出物、授業態度、出席率

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期） マスコミ出版・芸能学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライティングワーク			4	讀井 啓二郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4～9月	演習	選択	64	広告業界勤務経験

☐ 授業概要

取材から記事作成までの実務的な動きを学ぶ

☐ 授業テーマ

取材から記事作成までの流れを実際の制作で学び、フリーペーパーなどの冊子を作成

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	ライティングワーク33	プランニング
2	／	ライティングワーク34	プランニング
3	／	ライティングワーク35	プランニング
4	／	ライティングワーク36	制作の準備
5	／	ライティングワーク37	制作の準備
6	／	ライティングワーク38	取材・コピーライティング
7	／	ライティングワーク39	取材・コピーライティング
8	／	ライティングワーク40	取材・コピーライティング
9	／	ライティングワーク41	取材・コピーライティング
10	／	ライティングワーク42	記事・冊子制作
11	／	ライティングワーク43	記事・冊子制作
12	／	ライティングワーク44	記事・冊子制作
13	／	ライティングワーク45	記事・冊子制作
14	／	ライティングワーク46	記事・冊子制作
15	／	ライティングワーク47	記事・冊子制作
16	／	ライティングワーク48	記事・冊子制作

☐ 到達目標

基本的な構成を土台とし応用力を身に着ける。

☐ 評価方法

課題提出

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期） マスコミ出版・芸能学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライティングワーク			4	讃井 啓二郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10～3月	演習	選択	64	広告業界勤務経験

☐ 授業概要

取材から記事作成までの実務的な動きを学ぶ

☐ 授業テーマ

取材から記事作成までの流れを実際の制作で学び、フリーペーパーなどの冊子を作成

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	ライティングワーク49	記事・冊子制作
2	／	ライティングワーク50	記事・冊子制作
3	／	ライティングワーク51	記事・冊子制作
4	／	ライティングワーク52	記事・冊子制作
5	／	ライティングワーク53	記事・冊子制作
6	／	ライティングワーク54	記事・冊子制作
7	／	ライティングワーク55	記事・冊子制作
8	／	ライティングワーク56	記事・冊子制作
9	／	ライティングワーク57	記事・冊子制作
10	／	ライティングワーク58	記事・冊子制作
11	／	ライティングワーク59	記事・冊子制作
12	／	ライティングワーク60	記事・冊子制作
13	／	ライティングワーク61	記事・冊子制作
14	／	ライティングワーク62	記事・冊子制作
15	／	ライティングワーク63	記事・冊子制作
16	／	ライティングワーク64	記事・冊子制作

☐ 到達目標

基本的な構成を土台とし応用力を身に着ける。

☐ 評価方法

課題提出

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期） マスコミ出版・芸能学科 1年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	著作権			2	讃井 啓二郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必修	32	広告業界勤務経験

☐ 授業概要

メディアコンテンツを適正に扱う上で、確実に理解をしておくべき知的財産権「著作権」

についての知識を修得

実際に社会に公開されているメディアコンテンツを題材に、逆引きでの分析をディスカッション・ディベートで行う

☐ 授業テーマ

過去の実例などを元に、メディアビジネスで使用する著作権を理解する。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	著作権1	特許・意匠・実用新案・商標・著作権について
2	／	著作権2	小説、脚本、論文、講演そのほかの美術の著作物
3	／	著作権3	音楽の著作物・絵画、版画、彫刻そのほかの美術の著作物
4	／	著作権4	建築の著作物・写真の著作物・映画の著作物
5	／	著作権5	プログラムの著作物・二次的著作物・編集著作物、データベースの著作物
6	／	著作権6	公表権・氏名表示権・同一性保持権
7	／	著作権7	複製権
8	／	著作権8	上演権・演奏権
9	／	著作権9	上映権
10	／	著作権10	公衆送信権・公の伝達権
11	／	著作権11	口述権・展示権
12	／	著作権12	頒布権・譲渡権
13	／	著作権13	貸与権
14	／	著作権14	翻訳権・翻案権
15	／	著作権15	次的著作物の利用権
16	／	著作権16	レポート作成

☐ 到達目標

メディアビジネスで使用する著作権の理解

☐ 評価方法

提出物、授業態度、出席率

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）		マスコミ出版・芸能学科 2年			
授業コード	ライティングワーク			週間授業時数	担当講師名
				4	讃井 啓二郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4～9月	演習	選択	64	広告業界勤務経験

☐ 授業概要

取材から記事作成までの実務的な動きを学ぶ

☐ 授業テーマ

取材から記事作成までの流れを実際の制作で学び、フリーペーパーなどの冊子を作成

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ライティングワーク33	プランニング
2	／	ライティングワーク34	プランニング
3	／	ライティングワーク35	プランニング
4	／	ライティングワーク36	制作の準備
5	／	ライティングワーク37	制作の準備
6	／	ライティングワーク38	取材・コピーライティング
7	／	ライティングワーク39	取材・コピーライティング
8	／	ライティングワーク40	取材・コピーライティング
9	／	ライティングワーク41	取材・コピーライティング
10	／	ライティングワーク42	記事・冊子制作
11	／	ライティングワーク43	記事・冊子制作
12	／	ライティングワーク44	記事・冊子制作
13	／	ライティングワーク45	記事・冊子制作
14	／	ライティングワーク46	記事・冊子制作
15	／	ライティングワーク47	記事・冊子制作
16	／	ライティングワーク48	記事・冊子制作

☐ 到達目標

基本的な構成を土台とし応用力を身に着ける。

☐ 評価方法

課題提出

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）

マスコミ出版・芸能学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライティングワーク			4	讀井 啓二郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10～3月	演習	選択	64	広告業界勤務経験

☐ 授業概要

取材から記事作成までの実務的な動きを学ぶ

☐ 授業テーマ

取材から記事作成までの流れを実際の制作で学び、フリーペーパーなどの冊子を作成

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	ライティングワーク49	記事・冊子制作
2	／	ライティングワーク50	記事・冊子制作
3	／	ライティングワーク51	記事・冊子制作
4	／	ライティングワーク52	記事・冊子制作
5	／	ライティングワーク53	記事・冊子制作
6	／	ライティングワーク54	記事・冊子制作
7	／	ライティングワーク55	記事・冊子制作
8	／	ライティングワーク56	記事・冊子制作
9	／	ライティングワーク57	記事・冊子制作
10	／	ライティングワーク58	記事・冊子制作
11	／	ライティングワーク59	記事・冊子制作
12	／	ライティングワーク60	記事・冊子制作
13	／	ライティングワーク61	記事・冊子制作
14	／	ライティングワーク62	記事・冊子制作
15	／	ライティングワーク63	記事・冊子制作
16	／	ライティングワーク64	記事・冊子制作

☐ 到達目標

基本的な構成を土台とし応用力を身に着ける。

☐ 評価方法

課題提出

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他